



「草原の朝」 撮影 / 佐谷 禎介

ピンポケ会

7月
16日

夏の暑さをふっとばせ！
吉隈保育所夏まつり開催



編集＊後記
Editorial Postscript

▶性格は簡単には治らない？

子どもの頃、夏休みが始まる前にいつも決意していたことがあります。「今年こそ、宿題を7月中に終わらせて、残りの夏休みは遊びまくるぞ」。しかし、実行は1日目だけ。あまりの宿題の量の多さに現実逃避。「よし明日から頑張ろう」が続き、結局8月最終週を迎えます。日記は書いていない、感想文も書いていない、自由課題も出来ていない…。地獄の日々の始まりです。日記の天気調べは大変でした。自由課題も時間がなく、独創的な作品が出来上がります。親に怒られ、眠気と戦い、最後は泣きながら…。もうそれはそれは大変でした。典型的な「自業自得」ですね。

大人になってもそれは同じで、何でもコツコツやるのは難しく、追い詰められないと重い足が動かない。広報担当としては致命的な性格であり、今月号ももちろん締切間近でいま、この編集後記を書いています。35年かけてできあがった性格はそう簡単には治らないのだろう。「この性格で生きていこう。なんとかなるさ。」と諦める。諦めの良さと、プラス思考だけは、私の性格の長所かもしれない。(上田 耕太郎)

俳句会

(六月例会)

郵送俳句会
大庭土筆選

特選

早起きは息災にして明易し

摩治 廣子

夏至の日や縄文遺構常しなへ

畑江 秀文

本選

夏至の夜や越の妹恋ひ長電話

花田ムツ子

短夜や安堵のメール掌に受けて

原口 孝子

生き生きと子らの挨拶夏至の朝

野上マチ子

短歌会

(七月例会)

キム・英子・ヨンジャ選

老いゆけば惜しむ気持ちもうすれたり黄なる落梅山と掃きよす

金田トシ子

芋の葉の露を集めて墨摺りし幼き頃や文月の朝

藤川 峯男

昼休みに拾ひし石は宝石と凶鑑かかへて曾孫帰るく

原 哲子

朝夕の雨戸の音にさりげなく安否たしかむお隣どうし

木原トシ子